

2021年1月11日

北の大地の水族館

館長 山内創

完全結氷初日を迎えました！ 厳しい冷え込みで平年並みの結氷初日

2021年1月8日、北の大地の水族館の世界初展示「北の大地の四季」水槽において、今シーズンの完全結氷初日を迎えたことをご知らせいたします。今シーズンは年末から強い寒波により気温マイナス2桁の日が続き、使用する地下水温、水槽内の温度も下がりほぼ平年例年通りに結氷初日を迎える事となりました。1月11日朝現在、水槽には厚さ8センチの氷が張っており、暖かい館内から寒さを目で見て体感することができます。午前中には氷の上にフロストフラワーが見られることもあります。

☆四季の水槽とは☆

2012年のリニューアル以来北の大地の水族館の目玉展示の一つとして設置されている水槽で、北海道の川における四季の移り変わりを観察することができます。中で厳冬期には凍った川の下で過ごす魚たちの様子を見ることができる水槽として注目を集め、冬一番の見所となっています。

☆完全結氷初日の定義☆

【完全結氷日（初日）の定義】水面が全面結氷し、24時間溶けなかった日を「結氷日」としています。夜間に全面結氷した場合は、翌朝から閉館時間までに溶けなかった日が「結氷日」となります。なお、全面結氷とは、水槽のガラス面を除く水面全体が結氷した場合のことを指します。

☆これまでの完全結氷初日☆

2013年	1月18日	2018年	1月5日
2014年	1月11日	2019年	1月5日
2015年	1月4日	2020年	2月4日
2016年	1月11日		
2017年	1月9日		

お問い合わせ：担当/山内創

TEL：0157-45-2223

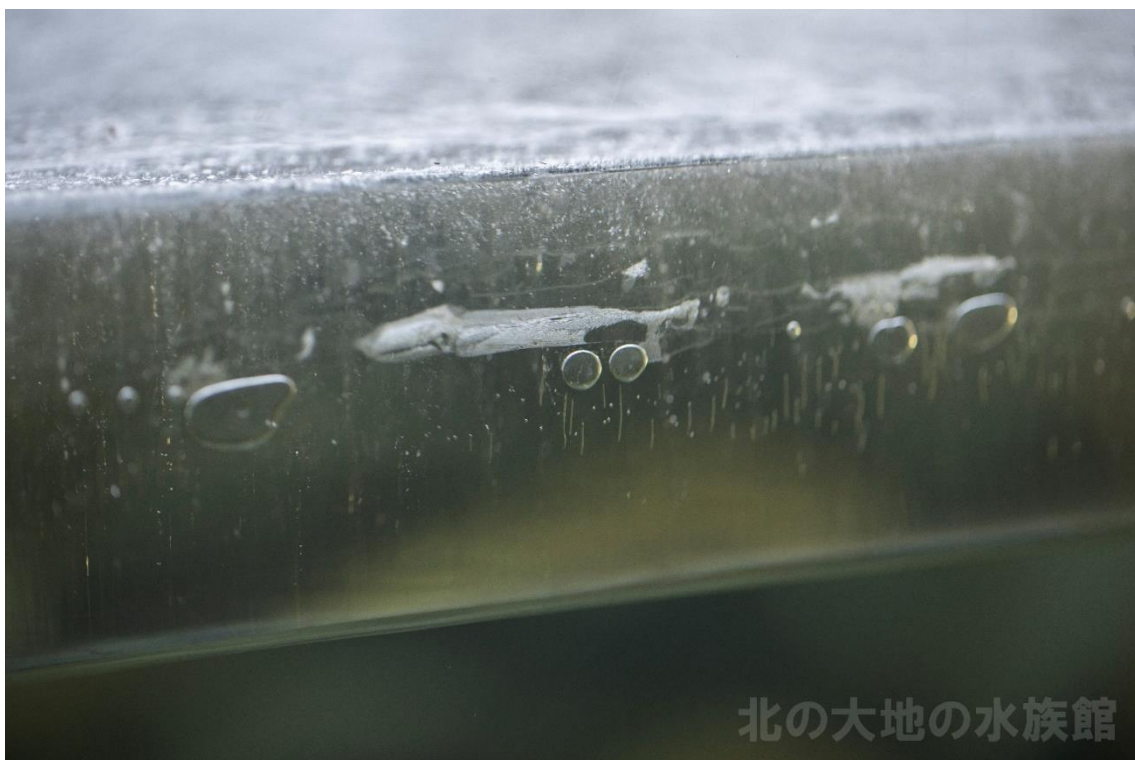
PRESS RELEASE

報道関係各位

全景↓



氷(7センチ)↓



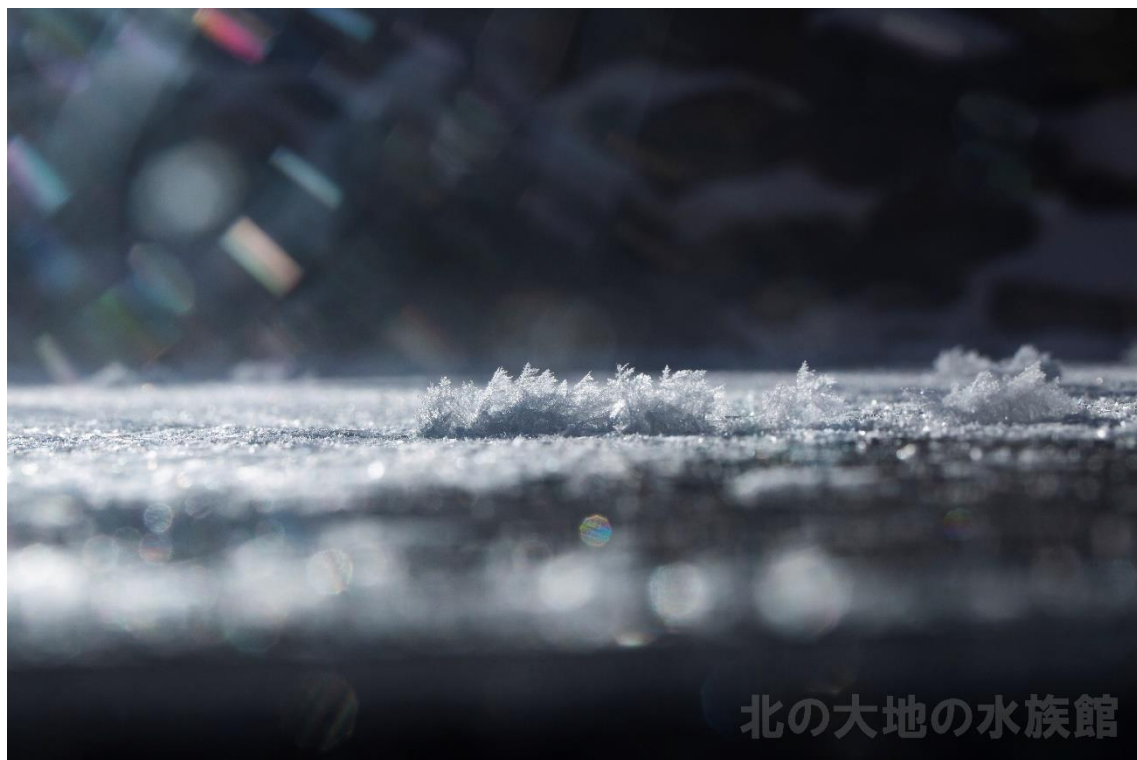
お問い合わせ：担当/山内創

TEL：0157-45-2223

PRESS RELEASE

報道関係各位

フロストフラワー



お問い合わせ：担当/山内創

TEL：0157-45-2223